

日本ロレンス協会 The D. H. Lawrence Society of Japan  
日本ロレンス協会第40回記念大会プログラム

日時:2009年6月27日(土)、28日(日)  
会場:名古屋工業大学 51号館101教室(控え室・休憩室:51号館小ルーム)  
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町  
連絡先:Tel/Fax: 052-735-5178(有為楠泉研究室)

第1日目:6月27日(土曜日)

受付:午前9時より

総合司会:有為楠泉(名古屋工業大学教授)

・開会の辞:会長鈴木俊次(愛知学院大学教授)(9:30-9:35)

・開催校挨拶:

名古屋工業大学工学教育総合センター長

大貫徹(名古屋工業大学教授)(9:35-9:40)

○研究発表前半

司会杉山泰(京都橘大学教授)

研究発表1 9:40-10:15

・「虹」=現代的「自己」獲得への入口ー哲学的視点から『虹』を読み直す

鳥飼真人(和歌山大学非常勤講師)

研究発表2 10:15-10:50

・批評装置としての音楽ー『アーロンの杖』再読

三宅美千代(早稲田大学非常勤講師)

※小休憩 10:50-10:55

○研究発表後半

研究発表3 10:55-11:30

司会倉持三郎(東京学芸大学名誉教授)

・『チャタレー夫人の恋人』に見られる無意識的体験のための文体

中林正身(相模女子大学専任講師)

研究発表4 11:30-12:05

・「暗闇の神」の正体

石川勝久(名古屋市立大学非常勤講師)

※昼食:12:05-13:30(場所については上記「昼食のご案内」を参照のこと)

第40回記念大会テーマ(The Fortieth Commemorative Conference's Theme)  
「東アジアの英文学研究とロレンス研究 English Literary Studies and D. H. Lawrence  
Studies in East Asia」

Keynote Speech 13:30-14:15 Chair: Hiroshi MUTO (Professor, Keio University)

- Monkey Nuts or Filberts?: Troubles in D.H. Lawrence's 'Monkey Nuts'

Masazumi ARAKI (Professor, Shirayuri Women's College)

Symposium: Lawrence studies in East Asia 14:20-17:20

Chair. Masashi ASAI (Professor, Kyoto Tachibana University)

- Overthrowing the Western Authority: How to Read D. H. Lawrence In, and After, the Age of "Author's Death" or How to Overcome our "Negative" Heritage

Masashi ASAI (Professor, Kyoto Tachibana University)

- Apocalypse and Lawrence's Thinking on Collectivity

Jung-a HWANG (Professor, Ewha Womans University)

- Lawrence and Postimperial English Culture

Nobuyoshi OTA (Professor, Tokyo Gakugei University)

◎総会 17:20-17:50

◎懇親会(場所:名古屋工業大学校友会館)18:30-21:00

2日目:6月28日(日曜日)

若手シンポジウム: ロレンスとニューレフト 9:30-12:30

司会 加藤洋介(西南学院大学准教授)

- 継続と反復 ロレンス、レッシング、ウィリアムズ  
近藤康裕(日本学術振興会特別研究員)

• ロレンスとニューレフト—映像文化をめぐって  
糸多郁子(桜美林大学教授)

• ロレンス・エコロジー・ニューレフト  
巴山岳人(和歌山大学非常勤講師)

• レイモンド・ウィリアムズの "form" を読む—60年代以後のロレンス批評  
加藤洋介(西南学院大学准教授)

- 閉会の辞: 副会長 武藤浩史(慶應義塾大学教授)